

「JR貨物による輸送品質改善・更なる役割発揮懇談会」について

平成19年3月14日

平成19年3月5日に国土交通省に設置された「JR貨物による輸送品質改善・更なる役割発揮懇談会」（座長：国土交通省鉄道局 大口次長）において、JR貨物による輸送品質改善アクションプラン案を基にした意見交換、改善要望、協力要請などの議論を荷主業界、通運業界などで行い、実効性のある取り組みを行うことになりました。

1．懇談会設置の趣旨

環境負荷の小さい輸送モードである貨物鉄道は、原油高構造、若年労働力減少下におけるモーダルシフト、企業の環境・省エネルギー行動の受け皿、CO₂排出削減目標達成への貢献など、その社会的使命は益々増大しています。JR貨物は様々な改善に取り組んでいますが、安全安定輸送や顧客ニーズへの対応等の面での課題が指摘され、更なる努力をしていく必要があることから、国土交通省鉄道局が関係業界に呼びかけて懇談会を設置し、その役割発揮のための後押しをしていくこととしたものです。

2．主なテーマ・議論内容

- (1)顧客ニーズへの対応強化、輸送品質の向上
- (2)限られた輸送力を最大限活用して輸送余力を生み出す方策
(オフピーク輸送への協力要請)
- (3)安定輸送確立の具体策

3．出席者

- (1)国土交通省 鉄道局、総合政策局
- (2)業界団体等
日本鉱業協会、(社)電子情報技術産業協会、石油化学工業協会、日本路線トラック連盟、(社)日本電線工業会、全国農業共同組合連合会、(社)日本倉庫協会、(社)日本自動車部品工業会、(社)日本冷凍食品協会、(社)鉄道貨物協会など
- (3)利用運送事業者 全国通運連盟など
- (4)JR貨物

4．スケジュール

3～5月に業種ごとのヒアリングを2回実施し、6月を目途に「JR貨物による輸送品質改善アクションプラン」を策定します。